

# 平成23年度秋の叙勲受章者

11月3日に叙勲者が発表され、当会から以下の方々から叙勲受章の栄に浴されました。  
心よりお慶び申し上げます。

## 叙勲者の横顔



### 旭日小綬章（弁理士業務功労）

こ いけ あきら  
小 池 晃

#### 学歴・職歴

昭和39年 日本大学法学部法律学科 卒業  
(現在) 小池国際特許事務所

#### 弁理士会歴

昭和39年 弁理士登録(6773号)  
昭和47年～48年 会誌委員会 委員長  
昭和56年～57年 弁理士会常議員  
昭和57年～58年 弁理士会常議員会副議長  
昭和58年～59年 役員制度特別委員会 委員長  
昭和60年～61年 令規委員会 委員長  
昭和62年～63年 令規委員会 副委員長  
昭和63年～平成1年 弁理士会理事(副会長)  
昭和63年 制度調査会 副委員長  
平成1年～2年 役員制度委員会 委員長  
平成2年～4年 研修所 副所長  
平成2年～3年 役員制度委員会 委員長  
平成5年～6年 令規委員会 委員長  
平成6年～7年 情報資料委員会 副委員長  
平成7年～12年 弁理士制度100周年記念事業準備委員会 副委員長  
平成9年～10年 総務委員会 副委員長  
平成11年～12年 弁理士法改正特別委員会 副委員長  
平成11年～12年 次年度予算等検討委員会 副委員長  
平成12年～13年 弁理士会理事(副会長)  
平成13年 日本弁理士会副会長(総括副会長)  
平成13年～14年 登録審査会 会長  
平成13年～14年 日本弁理士会会長  
平成15年～16年 知的財産制度改革推進会議 副委員長  
平成16年～20年 中央知的財産研究所 所長

#### 懇談会

平成15年 定期総会 議長  
平成15年 第1回臨時総会 議長  
平成20年 第1回臨時総会 議長

#### 叙勲褒章

平成8年 黄綬褒章(弁理士業務功労)

#### 表彰

昭和49年 弁理士制度75周年記念式典表彰  
平成3, 8, 14, 15, 16, 18, 20, 21年 弁理士会特別功労表彰  
平成7年 弁理士会永年功労表彰  
平成11年 弁理士制度100周年記念式典特別功労者表彰  
平成17, 18年 日本弁理士会感謝状  
平成21年 弁理士制度110周年記念式典特別功労者表彰

#### 公職

平成13年～14年 産業構造審議会臨時委員  
平成14年～15年 知的財産戦略会議委員

#### 受章に浴して

この度、図らずも叙勲の栄に浴することができました。これもひとえに多くの皆様の御指導及び御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昭和39年東京オリンピックの年に弁理士登録を致し、学生生活に引続き直接弁理士となり、今日まで47年間、弁理士の道一筋で現在に至っております。弁理士の登録と共に、理系の大学・大学院において研鑽を重ね、国内外の出願や紛争処理に係わり、人生の全てを知財活動に没頭して参りました。

今後も微力ではありますが知財の実務家として職責の貫徹に尽くして参りたいと考えております。

最後になりましたが、これまでに賜った弁理士会及び特許庁・経産省の皆様へ御礼を申し上げます。



## 瑞宝中綬章 (通産行政事務功労)

おぐりしょうへい  
小栗 昌平

### 学歴・職歴

昭和 39 年 静岡大学工学部電子工学科 卒業  
昭和 39 年 特許庁入庁  
昭和 43 年～52 年 審査官  
昭和 53 年～54 年 審判官  
昭和 54 年～57 年 審査官  
昭和 57 年～60 年 審査長  
昭和 60 年～63 年 審査基準室長  
昭和 63 年 1 月～同 4 月 審判長  
昭和 63 年～平成 2 年 審査長  
平成 2 年～3 年 審判部書記課長  
平成 3 年～5 年 審査第三部長  
平成 5 年～6 年 審判部長  
平成 6 年 特許庁退官  
平成 9 年～16 年 東京大学工学部「特許法」非常勤講師  
(現在) 栄光特許事務所

### 弁理士会暦

平成 6 年 弁理士登録 (10564 号)

### 賞

平成 18 年度 発明奨励功労賞 (社団法人発明協会)

### 受章に浴して

この度は、平成 23 年秋の叙勲の栄に浴し、これもひとえに皆様方のご支援のおかげと、深く感謝いたしております。

受章にあたり、弁理士会の方々をはじめ多くの方々からご丁寧なご祝意をいただき、大変にありがとうございます。

東海道新幹線の開業及び東京オリンピックの開催の年である昭和 39 年の 4 月に特許庁に入庁して 30 年余り、特許実用新案の審査審判実務を中心に、先輩、同僚、後輩の方々のご指導ご支援のもとに、また、出願人及び代理人の方々のご理解ご協力のもとに、長年にわたり業務に励むことができました。

そして、改善多項制に係る特許法改正時の審査基準等の検討や特許制度のハーモナイゼーションへの対応に係る制度運用の検討は、いまだ大きく記憶に残っております。

特許庁退官後は、一弁理士として、発明者出願人のご要請に添って、審査官審判官の適正なご判断を仰ぐように努め、特許事務所の所員ともども、多くの大切な発明の権利化に関与させていただくことができました。

また、大学等の非常勤講師や発明協会アジア太平洋工業所有権センター等の研修講師として多くの内外の若い世代の方々と交流する機会を与えてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも、よろしく、ご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



## 瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

ど い きよ のぶ  
土 井 清 暢

### 学歴・職歴

昭和 39 年 名城大学第一理工学部機械工学科卒業  
昭和 39 年 特許庁入庁  
昭和 43 年～ 53 年 審査官 (審査第二部)  
昭和 53 年～ 54 年 審判官 (第 11 部門)  
昭和 54 年～ 58 年 審査官 (応用機器)  
昭和 58 年～ 62 年 審査長 (土木)  
昭和 62 年～平成 6 年 審判長 (第 11 部門)  
平成 6 年 特許庁退官  
(現在) 恒和特許事務所

### 弁理士会暦

平成 6 年 弁理士登録 (10562 号)

### 受章に浴して

この度は、叙勲の榮に浴し、身に余る光榮に存じますとともに、先輩・同僚・後輩諸氏の多大なご助力とご指導に対し、心より感謝する次第です。

また、この間に弁理士会をはじめ多くの関係者各位からご丁寧な祝意を頂き、大変有難うございました。この場を借りて御礼申し上げます。

顧みますと、特許庁における 30 年余の審査官・審判官としての経験と、その後の 15 年以上の弁理士としての経験とでは、その立場が百八十度異なるように思われますが、一貫して変わらない自身の態度は、微力ながらも常に、誰かの役に立てばとの思いであったと回想されます。特許庁では特別な部署での経験も少なく、弁理士としても、特に多方面の出願を代理することも有りませんが、その立場に応じて最善を尽くしたとの自負だけは、持てたつもりでおります。

入庁以来 50 年近くを経て、特許制度を取り巻く環境は一変し、これからまだ何かの役に立てるかと考えますと、誠に心もとないところでありますが、これまでの経験を生かして、出来る限り頑張る所存でございます。これからもご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



## 瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

やま ぐち たか お  
山 口 隆 生

### 学歴・職歴

昭和 41 年 熊本大学工学部電気工学科 卒業  
昭和 42 年 特許庁入庁  
昭和 46 年～53 年 審査官 (審査第 5 部)  
昭和 57 年 10 月 審判官  
昭和 57 年 10 月～同 12 月 大韓民国特許庁に派遣  
昭和 57 年～59 年 審判官  
昭和 59 年 特許庁退官 (新技術開発事業団へ出向)  
昭和 61 年～平成 2 年 審査官 (審査第 5 部)  
平成 2 年～3 年 審査長 (電子回路)  
平成 3 年～7 年 審判長 (第 30 部門)  
平成 7 年 特許庁退官  
(現在) フタバ国際特許事務所

### 弁理士会歴

平成 7 年 弁理士登録 (10700 号)

### 受章に浴して

この度、はからずも叙勲の榮に浴し、身に余る光榮に感じております。  
これも、先輩、同輩並びに後輩の皆様のご指導、ご支援の賜物と心より感謝いたしております。

私が特許の世界に参加して以来、制度的には公開制度、審査請求制度、PCT への加入、実用新案制度の無審査への移行と変化し、また、実務的には IPC 移行に伴う組織再編、ペーパーレス体制の構築等の大きな変革がありました。その事業の当初に関係させて戴き、当時は大変苦勞しましたが、現在の状況を見ると、有意義な経験をさせてもらったと思っています。

過って、ある上司が「出願の減少はお国の大事、出願の激増は特許庁の大事」と言われたことがありましたが、まさしく現状の出願の減少は「お国の大事」と「弁理士の大事」になっている感があります。

このような状況をどうにかするための何かよい智慧が無いものかと、ゴマメの歯ぎしりをしつつ、ささやかな思いを巡らせている昨今です。

これからも微力を尽くすつもりです。今後ともよろしくご指導の程をお願いいたします。

瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

いり まじり たか お  
入 交 孝 雄

学歴・職歴

昭和 43 年 名古屋大学工学部金属学科 卒業  
昭和 43 年 特許庁入庁  
昭和 47 年～ 54 年 審査官  
昭和 54 年～ 55 年 審判官  
昭和 55 年～ 59 年 審査官  
昭和 59 年～ 61 年 審判官  
昭和 61 年～平成 4 年 審査官  
平成 4 年～ 5 年 審査長  
平成 5 年～ 8 年 審判長  
平成 8 年 特許庁退官  
(現在) 入交特許事務所

弁理士会暦

平成 8 年 弁理士登録 (10796 号)

受章に浴して

この度、叙勲の栄を受けましたこと、常なる来し方、わが身を省みて身に余ることと感じております。

特許庁在職凡そ 27 年の締めくくりでもありますが、その間の環境の変化も振り返ってみれば今さらながら驚くばかりです。先輩の方々が良く口にされるように、昔はいわば牧歌的であったかとも思われますが、最近の職責を明らかにしてプロフェッショナルに徹する傾向も一つの進化ではないかと思えます。

このようは機会でもないと、振り返って反省することなどなさそうですが、叙勲の発表で年齢まで顕されると、若いつもりで適当に過ごしていたところで少々慌てざるを得ませんが、いわば年貢の納め時まで明らかにされたわけで、今後は身を謹んで生きることとしたいと考えております。